

WHO ファクトシート

マイセトーマ（菌腫）

Mycetoma

2017 年 4 月

重要な事実

- ・マイセトーマは、皮膚、筋肉や骨に損傷を与える、皮下組織の慢性で進行性の破壊的炎症性疾患である。
- ・マイセトーマは、多種多様な微生物が原因となる可能性があるが、たいていはバクテリアや真菌類が原因している。
- ・マイセトーマは、短い雨季と長い乾季が特長で棘の多い灌木の生育に適した熱帯や亜熱帯の環境で発生する。
- ・世界全体の疾病負担は不明であるが、2013 年の調査では 8763 例が報告された。
- ・マイセトーマは、流行地域で患者、コミュニティ、医療サービス等に対して、医療、保健そして社会経済的に多くの不都合な結果をもたらす。
- ・感染予防は困難であるが、流行地域に住んだり旅行する人々には、一般的に履物や衣服の着用で刺し傷を予防できるので、裸足で歩かないことを助言すべきである。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Mycetoma

ファクトシート原文は [こちら](#)